

す

わ

No.95

令和6年(2024)2月1日

Guide to SuwaCity Council

市議会だより

目次

年頭のご挨拶・議会TOPICS①	2
審議結果・モニター通信	3
常任委員会報告	4
代表質問	6
議会TOPICS②	7
一般質問	8
議会TOPICS③	14
議長室からこんにちは!	16

市民と議員との意見交換会

「議員と語っちゃオ!!」



令和5年12月定例会

R5.11.28▷R5.12.14

報告3件

議案18件

議員議案1件

が審議されました。

見どころ

- 議会TOPICS①議員と語っちゃオ!! 2P
- 議会TOPICS②意見交換会 7P
- 議会TOPICS③常任委員会行政視察 14~15P



令和六年 年頭のご挨拶



議長

横山 真

副議長

井上 登

明けましておめでとございます。

令和六年甲辰の新春を迎えるに当たり、市民の皆さんに諏訪市議会を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

新たな年を迎え、二元代表制の一翼を担う市議会の役割はますます重要になってくるものと存じます。

市民の皆さんの信頼と期待に応えられるよう、市民のためになる議会改革に取り組むとともに、安心・安全で活力ある諏訪市の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

今年一年が皆さんにとりまして良い年となりますよう、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

議会 TOPICS 1

ふらっと、ゆっくり

令和5年度 “議員と語っちゃオ!!” を開催しました

令和5年11月26日(日)

諏訪市議会は市民に開かれた議会、信頼される議会を目指し、議員と市民の皆さんが意見を交わす「議員と語っちゃオ!!」を毎年開催しています。

これまでは、市民の皆さんと議員がグループで話し合う形式で開催してきましたが、今回は趣向を変え、テーマ、時間とも自由に「ふらっと、ゆっくり」お寄りいただき、個別に意見交換を行いました。午前10時から午後5時まで議員が3班に分かれ、皆さんとリラックスした雰囲気、文化センターの改修や地域資源、観光、身近な地区の問題に関することなど様々な分野にわたる意見や課題、要望等をうかがいました。

当日は23名の方が次々と来場され、アンケートでは、「ざっくばらんに話げできた」「気軽に悩みが相談出来た」「続けてほしい」「丁寧に話を聞いてもらった」等のご意見が寄せられ、初めての試みではありましたが概ね好評価をいただけたように思います。

諏訪市議会として、皆さんから頂いた貴重なご意見を共有し、活動の参考にさせていただくとともに、今後もこのような意見交換等の場を設けていきたいと考えておりますので、引き続きご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



駅前交流テラスすわっちゃオにて

なお、「議員と語っちゃオ!!」で出されたご意見等は市議会HPにアップしましたので、ご覧ください。

こちらから



令和5年第6回(12月)定例会 審議結果

《全会一致で可決等された案件》

- 報告 第7号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額を定めるについて)
- 第8号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額を定めるについて)
- 第9号 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額を定めるについて)
- 議案 第44号 諏訪市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 第45号 諏訪市常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 第46号 諏訪市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 第47号 令和5年度諏訪市一般会計補正予算(第6号)
- 第48号 督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例を定めるについて
- 第49号 諏訪市職員定数条例の一部改正について
- 第50号 諏訪市一般職の職員の給与に関する条例及び諏訪市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について
- 第51号 諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ条例の一部改正について
- 第52号 諏訪市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 第53号 諏訪市空家等対策協議会条例の一部改正について
- 第54号 財産の譲与について
- 第55号 公の施設の指定管理者の指定について
- 第56号 公の施設の指定管理者の指定について
- 第57号 令和5年度諏訪市一般会計補正予算(第7号)
- 第58号 令和5年度諏訪市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 第59号 諏訪市国民健康保険税条例の一部改正について
- 第60号 令和5年度諏訪市一般会計補正予算(第8号)
- 第61号 令和5年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議員議案 第9号 イスラエルとイスラム組織ハマスによる戦闘の即時停戦を求める決議について



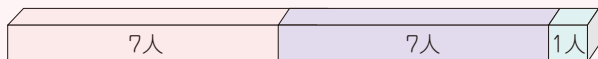
議会だより モニター通信



議会だより94号のアンケート結果

① 本誌の内容はわかりやすいと思いますか。

□ 良い □ まあ良い □ 普通 □ あまり良くない □ 良くない



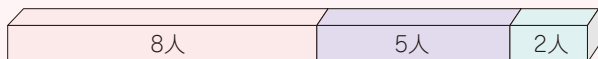
② 表紙や見出しについてのイメージはいかがですか。

□ 良い □ まあ良い □ 普通 □ あまり良くない □ 良くない



③ 紙面構成、レイアウトはいかがですか。

□ 良い □ まあ良い □ 普通 □ あまり良くない □ 良くない



④ 写真や図の使い方はいかがですか。

□ 良い □ まあ良い □ 普通 □ あまり良くない □ 良くない



⑤ 2頁の決算一覧表内で空きスペースを入れて「億」「万」の単位で揃えましたが、読みやすさはいかがですか。

□ 良い □ まあ良い □ 普通 □ あまり良くない □ 良くない



★たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。

◎議案第48号 督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例を定めるについて



議案の内容

令和5年4月より、金融機関の窓口における督促手数料の徴収事務が廃止されたことに伴い、今後の事務の効率化と納税者の利便性の向上に向け、市税等について督促手数料を廃止するため、関係する条例の一部が改正されるもの。

主な質疑

問 督促手数料を廃止した場合、徴収率はどうなるか。

答 督促手数料を廃止したことによる徴収率への直接の影響は、ほぼないと考える。

問 督促手数料を廃止することによって、その時間でより接触の機会が増えて徴収率を上げることができるかと考えているのか。

答 督促手数料の事務にかかる時間は年間約200時間である。その時間を本来の徴収業務である、納税者の納税意識の向上、納税相談、訪問にかけると同時に、市民の実情に合わせて滞納整理を進めることで、徴収率を上げていけると考える。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第54号 財産の譲与について

議案の内容

湖南1316番1地先の橋りょうについて、隣接する土地の所有者である企業から利用をしたい旨の申出があったことから、この橋りょうを無償譲渡するため、地方自治法第96条第1項第6号の規定に基づき、議会の議決が求められるもの。

主な質疑

問 橋の撤去工事の予定価格は、120万円。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第57号 令和5年度諏訪市一般会計補正予算(第7号)



議案の内容

主な内容は下記別表のとおり。

主な質疑

問 車両管理費について、燃料費高

騰の対象となる公用車は何台か。①

答 58台。

問 住民情報の共同処理の内容は。②

答 システムの標準化に伴い、外字(PCなどの文字入力ソフトに登録されていない文字)として登録している似た字を同定していくこと。

問 自転車用ヘルメット購入支援補助金について、下諏訪町では中学生も対象にしているとの報道だが、その検討はしたのか。③

答 検討は行っただが、今回は着用を推進するためのものであり、小中学生の着用率は高いため見送った。



問 新技術・新製品開発費補助金は申請があり既に交付済みか。④

答 審査会が年に1回あり、令和6年2月に開催を予定している。審査をして対象の10社を選定予定。

問 消防団の退団者が増えた理由は何か。⑤

答 定年、転勤等で活動ができない方以外に、各分団で活動されていない方の整理を行ったため。

採決の結果

全会一致可決。

補正予算(議案第47号・第57号 総務産業委員会付託分 ※11/28 即決分含む)

議案	項目	増減金額	主な内容	
第47号			人事院勧告等に基づく給与改定及び人事異動による給与費 4,531万5千円	
第57号	総務費	2,102万9千円	自治体情報システムの標準化に向けた住民情報の共同処理に係る委託料② 198万円	
			車両管理費(エネルギー価格の高騰等に伴い不足する燃料費)① 91万4千円	
			循環バス運行事業費 553万5千円	
				UIJ ターン就業移住支援補助金の増額 260万円
	商工費	200万円	新技術・新製品開発費補助金の増額③ 200万円	
	土木費	100万円	自転車用ヘルメット購入支援事業補助金④ 100万円	
	消防費	184万2千円	消防団員の退職者増に伴う退職報償金等⑤ 184万2千円	
公債費	△239万3千円	市債の金利見直しによる影響額分 △239万3千円		

※補正額と主な内容の合計金額は一致しない場合があります。△は減額補正です。

◎議案第48号 督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例を定めるについて



議案の内容

後期高齢者医療保険料について督促手数料を廃止するため、条例の一部が改正されるもの。

主な質疑

問 督促手数料は年間どのくらいの金額なのか。

答 令和4年度決算では、6万1,200円。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第51号 諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ条例の一部改正について



議案の内容

調理研修室の利用時間帯の変更、フリースペース及びイベントスペースの利用区分に半面使用が追加されるもの。

主な質疑

問 フリースペース、イベントスペースはどのように半面使うのか。

答 状況に合わせて移動式のパネル、ポールやテープで間仕切りする。

採決の結果
全会一致可決。

◎議案第56号 公の施設の指定管理者の指定について



議案の内容

諏訪市デイサービスセンター「西山の里」について、次の5年間の指定管理者を定めるにつき、議会の議決が求められるもの。

主な質疑

問 選定審査会での評価点について、どう捉えているか。

答 決して低い数字ではない。責任を持って運営していただきたいと考えている。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第57号 令和5年度諏訪市一般会計補正予算(第7号)



議案の内容

主な内容は下記別表のとおり。

主な質疑

問 障害児通所給付費について、放課後等デイサービス等の利用者ほど

のくらい増えたのか。①
答 具体的な数は言えないが、発達特性のあるお子さんが増えており、療育サービスを抵抗感なく使う家庭が増えてきていると分析している。

問 すわっこランドのエネルギー価格高騰対策支援の補助額の算出方法は、
答 指定管理者において、令和5年度の使用量実績及び見込みと令和3年度との差異に基づき算出している。

採決の結果

全会一致可決。

◎議案第59号 諏訪市国民健康保険条例の一部改正について



議案の内容

出産する被保険者に係る保険税の所得割額及び被保険者均等割額について、出産前後の計4か月分を免除するため、所要の改正が行われるもの。

主な質疑

問 この免除は今年度限りのものか。
答 今後も続けていく予定。

採決の結果

全会一致可決。

補正予算(議案第57号・第60号 社会文教委員会付託分 ※12/14 即決分含む)

議案	項目	補正額	主な内容	
第57号	総務費	1,163万8千円	住民基本台帳、戸籍、戸籍の附票に係るシステム改修費	1,163万8千円
	民生費	1億6,144万円	訓練等サービスの利用者増加に伴う就労継続支援給付費等	3,400万円
			介護サービスの利用者増加に伴う生活介護給付費等	4,600万円
			後期高齢者医療広域連合関係経費	1,529万円
	衛生費	721万9千円	放課後等デイサービス利用者等の増加に伴う給付費等①	6,381万6千円
教育費	4,926万3千円	すわっこランド費(指定管理者への光熱水費に対する補助金)②	721万9千円	
		小中学校内の感染症対策及び学習保障のための消耗品費	951万円	
		小中学校給食費補助金	1,033万2千円	
第60号	民生費	3億6,203万8千円	小中学校、生涯学習施設、スポーツ施設に係る光熱水費	2,942万1千円
			国民健康保険会計繰出金	541万8千円
			電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援金給付事業費	3億5,662万円

※補正額と主な内容の合計金額は一致しない場合があります。

新政すわ



吉澤 美樹郎



● 駅周辺事業の今後は？

問 駅周辺には「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン」「エキまちカイギ」かわまちづくり」等々互いに関連し合う事業が複数あるが、担当部署も違う中でどのようにまとめ上げるのか。

答 現在は事業ごと所管する部署が中心となつて運営を行い、必要に応じて連絡会議等を行っているが、全体を統括する専門部署の設置が必要だと認識している。

問 旧東バル建屋が使用中止となり本年は「諏訪圏工業メッセ」が岡谷市にて開催されたが、会場の手狭感などから旧東バル建屋での再開を望む声を聞く。他のイベント等からも同様の訴えが寄せられているが、使用再開の考えはないか。

答 使用再開のためには、安全性の確保、耐震性の向上が求められ、そのための改修工事には多額な費用が必要となる。諏訪湖イベントひろば整備が終了するまでの間のために多額の費用をかけるのは現実的ではな

く、解体の方向で進めていく。

● 安心・安全への取組は？

問 昨今は線状降水帯のような集中豪雨が頻繁に起こり、上川等が越水するのではないかとといった緊張する場面がしばしばある。治水対策として諏訪湖の予備放流を望む声も多いが、そのためには河川や諏訪湖のしゅんせつが必要となる。また河川内には実生木が茂り河川氾濫への懸念が指摘され対応が望まれる。県事業ではあるが市の対応は。

答 諏訪湖流域治水促進期成同盟会においても、諏訪湖のしゅんせつは最重要事項として要望している。また河川内の実生木等の除去は中門川上流から角間川、島崎川が交わる区域の現地視察を通し、県に対して地元の要望を行ったところである。今後も引き続き県に要望をしていく。

問 過去に冠水被害を経験している上諏訪地区の水路調査を実施したと思うが、調査結果と地域要望の大きい内水排除ポンプへの対策は。

答 当該地区区長との「関係行政機関／区及び関係者の対話の集い」を通し防災・減災について官民で情報共有を行い、干貫溝や並木水路をはじめ、各区の排水経路の確認を行った。一部に関しては本年度堆積土の除去などを行っている。県の調査で

も指摘のあった内水排除ポンプの能力不足に関しては問題解消に向け、令和6年度にポンプの設置を進めていく。

問 災害時の備え、避難計画について、共助の精神が育まれる中で要支援者に対する避難計画策定は進んでいると理解するが、個人の避難計画作成を促しているのか。

答 個人の避難計画を「マイ・タイムライン」と呼び、自宅の災害リスクを把握し、避難するタイミング・避難経路・避難先を計画し、家族間で共有する。作成促進に向けハザードマップにも掲載してあるが、出前講座の内容の見直しや広報に特集記事等を掲載するなど更に啓発に取り組みたい。



減災への準備

問 避難所の運営は誰が主体なのか。避難者自らが運営に関わることで心が落ち着き、ストレスも緩和される効果があるとの話を聞く。避難所運営に対する考え方、備えについ

てはどうか。

答 それぞれの避難所に対応した「開設・運営マニュアル」を策定し、市のHPで公開している。避難所を円滑かつ安定的に運営するためには、避難所にいる避難者を含めたすべての関係者が運営に携わっていただく必要がある。避難所機能の強化が「共助推進」の要となるため、様々な支援等を総合的に整理して、地域防災力の向上に取り組んでいく。

● 諏訪湖から見る海的环境

問 海洋で確認されているマイクロプラスチックは諏訪湖、河川を通して我々の生活と密接に結び付いている。プラスチックを外に出さないことが重要であるが、対策や代替品のシフトについて市の考えは。

答 行政としては、一人一人にマイクロプラスチックの課題を認識してもらつたため、市民へ正確な情報を提供し、行動変容を呼びかけていく。また、昨年度に引き続き今年度も企業との連携協定に基づき、公共施設に給水スポットを設置した。これはペットボトルや使い捨てカップ等のごみ削減とマイボトル利用へのシフトを啓発する目的として実施したものである。こうした民間事業者との協働を進めながら循環型社会の構築を目指していく。

市民第一



藤森 綾子



●「子育てするなら諏訪市」と言えるような子どもに優しい環境整備について

問 認定こども園について、保護者のニーズは。

答 市内にある民間の幼稚園型の認定こども園が受け皿となっており、具体的な要望はうかがっていない。令和7年度を始期とする「第二期諏訪市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査を年明けから実施する予定である。認定こども園に限らず、本市の幼児教育・保育や子育てに関する幅広いニーズを丁寧に把握していく。

要望 子育て世代に魅力を感じるステージを用意することが必要である。そのためには、子育て世代のニーズに合った制度を積極的に取り入れ、発展的で未来ある諏訪市になることを望む。

問 小中学校給食費の無償化または補助の拡大については。

答 食料費高騰により現行の給食費では献立の質、量ともに維持が困難。現行1食当たり15円の補助を行っているが、さらに小学校10円、中学校25円の増額が必要。保護者負担を鑑みて給食費を従前のままとするための補正予算案を今議会に上程した。なお、無償化には約2億2千万円が必要で市単独での実施は難しい。

●観光地としての諏訪市の未来について

問 二種免許取得に対する助成金制度の構築については。

答 地域の担い手問題については「2024年問題」に直面する観光バス業者やタクシー業者のみならず、多くの業種で深刻な問題である。国では厚生労働大臣の指定を受けた講座を受講した場合に、その受講料の一部を支援する「特定一般教育訓練給付金制度」があり、二種免許取得の場合は費用の40%、20万円を上限に給付される。窓口はハローワークとなり、市からもこの制度を紹介している。運輸業に限らず多くの業種で人材確保問題を抱えていることから、国や県の制度と連携し、助成金支給を含む総合的な市内事業者支援に取り組んでいくことが重要であると

認識している。

●諏訪市の温泉の未来永劫継続について

問 地区の共同浴場は高齢者の利用が多く、憩いと存在確認の場所でもあるが、高齢者福祉の観点から補助の検討はできるのか。

答 共同浴場は地区の財産で全世代が利用の対象。福祉施策での課題解決は難しい。バリアフリー化を支援する補助があるため、活用を検討してほしい。

要望 諏訪市民の温泉に対する位置づけは重要である。どうしたら市民が市民の特権としてより温泉に親しみ、楽しむことができるのか検討し、ぜひ実行していただきたい。



憩いの場所である区営温泉

議会 TOPICS 2

諏訪市子育て支援ネットワークとの意見交換会

令和5年10月30日(月)

第二期諏訪市子ども・子育て支援事業計画に掲げられている4つの基本目標「多様な幼児教育・保育の充実」、「子育てを支える地域活動の育成」、「安心して妊娠・出産・育児ができる環境づくり」、「男女がともに働きやすい環境の整備」について、それぞれの立場で活発に意見交換を行いました。今後も子育て環境がよくなるように、子育て環境のニーズや時代のタイミング等をしっかりと捉えて、必要とされる施策を実現できるよう提案していきたいと思っております。



一般質問

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。*各議員のQRコードから一般質問の動画にリンクできます。



岩波 万佐巳



●防災について

問 4年ぶりに開催された総合防災訓練に長野県福祉高等学校の参加があったと聞いたが、参加までの経緯は。



訓練時の会場の様子 手前の簡易テントを広げて奥に並べてあります。片付けには少しコツが必要ですが、

場だけでも利用したい。」との申し出に、「体育館を開放するので、屋内へ避難するのに活用してほしい。」と学校側から提案があったと聞いています。

問 市民や大学の感想は。

答 市民からは福祉に関する学校なので避難先として安心感があるとの評価。学校からは初めてであったが、早い段階から区長と打合せをしていたので負担感はなかった。地域との

答 清水4

区・赤羽根

区・武津区

の三区が日

頃からの交

流を通じて、避難所

に関する協

議を重ねて

きた。「駐車

場だけでも利用したい。」との申し出

に、「体育館を開放するので、屋内へ

避難するのに活用してほしい。」と学

校側から提案があったと聞いてい

ます。

問 市民や大学の感想は。

答 市民からは福祉に関する学校な

ので避難先として安心感があるとの

評価。学校からは初めてであったが、

早い段階から区長と打合せをしてき

いたので負担感はなかった。地域との

連携を深める面でもありがたい。ま

た、学校からは引き続き協力したい

との申し出もいただいている。

問 各避難所内の配置図の作成をしたらどうか。

答 配置図を作成している避難所もあるが、未作成の箇所は今年整備した「広域避難所マニュアル」を基に関係者との合意形成を得て展開していく。

問 配置図の写真等をカードにし、誰にでもわかるようにして避難所運営のグッズと一緒にボックスに入れておくようにしたらどうか。

答 「避難所開設キット」は配備してあるが、配置図カードは有効なものがあるので参考にした。

問 毎年行っている施設ごとの備蓄品の確認は、危機管理室の職員だけではなく、施設管理者や施設担当となる職員と顔合わせも兼ね、一緒に現地確認をしたらどうか。

答 関係者と協議を行う。

要望 誰もが避難所の開設ができ、運営できるようにしてほしい。

問 防災拠点となる防災センター設置の考えは。

答 将来的な庁舎の建て替え時の機会を捉え現時点では研究にとどめている。



高木 智子



●諏訪市のハード事業は今後どのようなことをやっていかなくてはいけないのか？

問 文化センター以外にも必要なハード事業は多くある。豊田小建設は17億6千万円かかっているが、小中一貫校建設の財政的負担は。

答 小中一貫校となることや環境への配慮、物価高騰等で多額の費用が見込まれる。

問 保育園も老朽化で建て替えの必要がある。負担はどのようになるのか。

答 豊田保育園建設に係る費用は約4億5千万円。同規模の園の建設でも資材高騰や人件費高騰により当時以上の費用がかかってくる。

問 市庁舎も老朽化。今後、何年使用可能か。建設費用の想定は。

答 建設後55年余を経過。今後15年の間に建て替える必要がある。現敷地または移転か、他の公共施設との複合型などで費用が大きく異なり一般的な建設費を示すのは難しい。参考として同規模自治体である中野市が約40億円で本庁舎建て替えをして

いる。

問 橋も老朽化している。橋の架け替えは大変高額。見直しはどうか。

答 現在414橋梁のうち約3割が50年経過。令和20年には7割になる。インフラのメンテナンスは喫緊の課題。

問 今後除去していく施設は。

答 旧城北小、旧東バル建屋、諏訪市公民館、公民館別館、教員住宅などが廃止、集約化。解体費用はそれぞれ数千万規模、もしくはそれ以上かかる。物価高騰の影響もあり高額になる。

問 その他に改修、更新が必要な施設は何かあるのか。

答 個別施設計画で廃止、集約化の方針が出ているものが該当する。

要望 生活に必須なインフラ等についてやらなくてはならない事業が数多くある。何を選択するかは将来に多大な影響を及ぼす。事業の見直しや財政状況をきちんと市民に示してほしい。



文化センター以外にも多額の費用がかかる多くのハード事業が…！！

いてやらなくてはならない事業が数多くある。何を選択するかは将来に多大な影響を及ぼす。事業の見直しや財政状況をきちんと市民に示してほしい。

一般質問



伊藤 浩平

●温泉関係の補助金創設について

問 温泉利用者及び組合等に対して、ゼロカーボンに資する観点から温泉関係の補助金制度創設の考えは。

答 今年度、国の補助金を活用して「地域資源由来再エネ導入可能性調査」を実施している。この調査により、諏訪市内における地中熱や温泉熱を含む再生可能エネルギーの導入ポテンシャルが明らかになる。地中熱も含め、ゼロカーボンに資する施策として今後どのような手法で効果的に生かすのか研究していく。

●香害・化学物質過敏症について

問 現在の状況と市民への周知は。

答 市消費生活センターにおいて、過去10年間の相談のうち、令和3年に「洗濯の際の柔軟仕上げ剤のにおい」に関する消費相談が1件あったのみである。市広報・ホームページを通じて、「香害に苦しんでいる方がいる」とへの理解と、「柔軟仕上げ剤使用の配慮」について、消費者庁

等が発行している啓発チラシなどを活用し、周囲の人への配慮など市民に対して啓発活動を行っていく。



国の5省庁による啓発チラシ

●通報システムのデジタル化

問 道路修繕及び市政への通報システムの導入の考えは。

答 諏訪市公式LINEにオプショントして道路修理箇所通報システム機能が提供されている。写真の位置情報、所管課を特定するための通報情報、状況説明、発生日などを送信する操作が必要であり、操作手順などを検証しているところである。その他の取組として、令和4年11月16日から公開型GIS「すわなび」で市の道路台帳の公開運用を始めた。また、3D都市モデルとして、市の様々な都市データや施設情報を重ね合わせた3次元で表現できるシステムの整備を今年度末を目標に進めている。



近藤 一美

●高齢者の就業機会拡大について

問 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、経済活動が活発になり人手不足が顕著になっている。岸田首相が「超高齢社会の課題を解決する国際会議」で、高齢者の就業促進、高齢者が地域で働ける場や社会を支える活動ができる場の拡大に取り組むと語った。介護・福祉人材が将来的にも不足するという懸念もある。市側の所見は。

答 我が国では少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少し人材不足が深刻な問題となっている。特に介護職のなり手不足や離職等により人手不足は事業所を運営するうえで大きな課題となっているため、長野県では働きながら介護資格を無料で取得できる補助制度を実施している。

●民生児童委員制度について

問 民生委員と児童委員の役割と人数、活動費は。

答 民生委員は民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された特別

職の地方公務員。地域において、住民の立場から生活や福祉全般に関する相談に応じ、必要な支援につなぐ役割を担っている。また、全ての民生委員は、児童福祉法によって児童委員を兼務。定員120名全員を委嘱している。活動費として県と市から年額11万100円が支給されている。

問 サポーター制度導入の検討は。

答 当市においては、諏訪市社会福祉協議会の独自事業として「一人くらし高齢者・一人暮らし障がい者見守り協力員制度」を実施している。

●ジョギングロード・サイクリングロード完成について

問 開通はいつか。

答 令和6年4月1日全面開通になる予定。サイクリングロードでは自



いよいよ、4月1日から全面開通！意外と狭いのでくれぐれいに注意。ルールをしっかり守りましょう。

転車15km/h以下、ヘルメット着用、左側通行とし、案内看板やのぼり旗を設置する。

一般質問



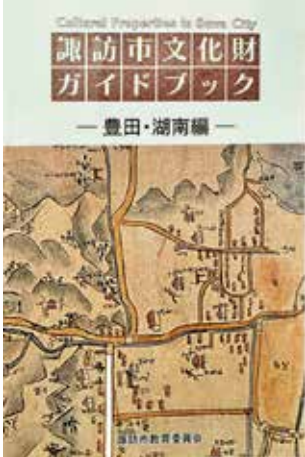
牛山 実弦



●地域教育 地域に学び、地域に
生きる子どもを育てる

問 郷土諏訪への愛着と誇りを育てる取組について、諏訪市文化財ガイドブックは、小学生を対象にルビを振る等行い、小学生向けの教材等にできないか。

答 文化財ガイドブックは上諏訪編、四賀・中洲編、豊田・湖南編と現在も3冊とも頒布を継続している。ルビを振るることについては、難しい漢字や専門用語などが多いので必要性は感じるところであるが、現在は3冊とも在庫があるため、次の増刷や改訂のタイミングで、可能な部分は配慮していく。加えて、QRコードによる子ども向けの音声案内を作成



諏訪市文化財ガイドブック

するといった取組なども研究していきたい。

要望 学校での周知を行っていただき、地域の文化について子ども達に知ってもらい、郷土への理解や愛着を育てていけるよう、そして、その資料が積み重なり、いつしか本等になっていけるようお願いしたい。

●保育所支援アプリ「コドモン」の運用について

問 今後市では、コドモンの活用をどのように考えるか。

答 保育ICTシステム整備事業として令和5年11月24日に全ての公立保育園で導入が完了した。現在は導入初期であることから、システム操作に慣れるまで、活用しやすい機能から使えるようにしている。定額サービス(サブスク)もコドモン上で連携可能となるので、保護者や保育現場などのニーズを捉えながら、利便性の向上や負担軽減に資する活用を今後研究していく。

要望 保育のICTシステムが導入されただばかりで、保育士の方々も慣れるまで時間がかかると思う。ニーズに合わせたアプリの追加・おむつのサブスク等の検討を宜しく願いたい。



小泉 正幸



●地域医療について

問 地域医療圏構想とは。

答 社会の高齢化や労働人口などによる医療需要(医療ニーズ)の変化に対応するため、各地域に適した医療体制を構築しようとする取組。病院の機能分化と連携により、限られた医療・介護資源を有効かつ効率的に使っていくことがポイント。

問 諏訪赤十字病院に対する補助金の状況は。

答 「諏訪赤十字病院移転新築補助金」として、約1億6,800万円を交付している。この補助金は、平成11年に現在の湖岸通りに移転新築した際の借入金に対する利子相当額の一部を交付するもの。総額約48億円を支援する予定。

問 諏訪赤十字病院の役割は。

答 諏訪医療圏の基幹病院として政策医療のほか、地域災害拠点病院・地域医療支援病院・救急救命センター等の認定に基づく公益性の高い医療を幅広く担っている。今後の圏域内における対応方針として、重症の

救急患者への対応や手術など、引き続き高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関であること、を主たる役割とする。ともに、周産期医療、精神疾患など特定の診療に対する役割を果たしていくと示されている。

公立病院を設置していない諏訪市においては、地域の中核的な病院としての対応のみならず、かかりつけ医師との連携強化を図ることによって、回復期・慢性期の患者の病状の変化等にも速やかに対応する体制を整えている。加えて新型コロナウイルスワクチン接種においては、諏訪市民の集団接種会場を開設する等、市民・地域の安全・安心の確保にとつて不可欠な病院であると認識している。



諏訪赤十字病院

一般質問

●諏訪圏工業メッセ



牛山 正



問 児童・生徒の見学を通じたものづくり教育とは。

答 ものづくり教育の一環である諏訪圏工業メッセの見学は、先進技術のすばらしさ、開発や生産などに関わる人の熱意を五感を通して感得し、ロールモデルとの出会いや郷土を愛する心情を育む場としている。

問 ものづくり教育の主な狙いは。

答 地域における連携体制や教育課程の特例、実践の積み重ねなど、特筆すべきものがあり、これからも地域の企業等と連携し、協力を得ながら、子どもたちの豊かな学びの実現に努めていく。

●森林経営

問 各地区の新規取組への支援は。

答 今ある森の恵みをどのように生かしていくのかという中でクロモジ茶、目薬の木茶、樹木精油等、今後の製品化に期待し、広報活動や販売ルートを紹介など相談を受けていく。

問 森林を生かした地域振興、後山



黒もじ茶（有賀林野株）と
樹木アロマオイル（上社周辺まちづくり協議会）

外からの人の呼び込み、活気ある地域づくりに資する取組である。国や県の合致する支援を案内することも、市としては情報発信媒体による認知度の向上などに努めていく。

●市役所の取組は

問 内部通報制度、コンプライアンスの取組は。

答 職員の内部通報制度は、「諏訪市公益通報の処理に関する要綱」により整備されている。総務課が窓口となり必要な措置を講じ、通報者への不利益な取扱いを禁じている。

問 コンプライアンスの遵守については。

答 毎年、様々な職層に対して研修を実施している。おかしいと思ったことを指摘できる組織風土や、それに対して自ら改善をしていける組織の自浄作用を確保していく。

における「きのこの里」構想への支援

答 「きのこの里」構想は地域に住む人々の意欲向上と圏域



大津 学



●地域公共交通について

問 茅野方面へのアクセスがよい。現状についての考えは。

答 茅野市への乗り継ぎについて現状では、市のかりんちゃんバスも茅野市の「のらぎあ」も、運行エリアはそれぞれ市域内。かりんちゃんバス等により茅野市境まで行き、そこで「のらぎあ」に乗り換えていただく等の方法が考えられる。

問 岡谷茅野線の増強を図るべきだと思うが、いかがか。

答 アルピコ交通（株）と県、沿線4市町で協議をしていく。

問 茅野市との連携は。

答 上諏訪駅―諏訪大社本宮―前宮―茅野駅というルートの観光便を検討している。

●高齢者の移動手段について

問 停留所設置の目安となる徒歩300mを歩けないが高齢者タクシー利用料金助成を受けられない人がいる。適用範囲を拡大してほしい。

答 限られた資源の中で全体のバラ



茅野方面とのアクセスは…

ンスを見て実施事業を決定している。来年度から開始予定のAIオンデマンド交通実証事業の成果と効果を検証した上で、検討していく。

●上水道について

問 自宅敷地内の漏水の修理をした際市道も掘ることになり高額な請求が来た、との相談を受けた。諏訪市の場合は全額所有者負担か。

答 市では、漏水の発生地点で水道局と市民の負担を分けている。漏水地点が市道や国道、県道などの公道内の場合水道局の負担で対応しており、民地内の場合所有者に負担をお願いしている。

問 メーターまでの修理費用は全額市で負担すべきでは。

答 漏水箇所にかかわらず市により全額費用負担することは難しいが、時代の変化等もあるので、他の自治体の実施状況等の研究に努め、精査した上で、対応を考えたい。



藤森 靖明



●「上諏訪街道まちあるき呑みあそび」について

問 今後の展望は。

答 五蔵の中からは、さらによりお酒を提供するための施設整備と、パッケージングの改良のための産業連携事業補助金の申請がなされるなど、好循環にもつながっている。市として名産品のブースを出店し、市内のりんご農家によるりんご飴の試験販売を実施したところ、好評であり手応えを感じていただけた。

●通所介護(デイサービス)について

問 利用状況は。

答 定員が18人以下の小規模な通所介護施設で、日常生活上の支援や機能訓練などのサービスを受けることができる地域密着型通所介護の利用件数は599件、前年度と比べると13.1%となっている。傾向として地域密着型の小規模な事業所の利用が増えていく状況。

問 介護職員不足の状況は。

答 2025年問題、その先の2040年問題を

見据えると、労働者不足はますます深刻になると想定される。諏訪広域介護フェスタなどを通じて、介護に関心を持ち、将来介護職を担う人材が増えることを期待している。



2023 広域介護フェスタのチラシ

●若者の就労状況について

問 再就職の状況は。

答 厚生労働省が令和5年に公表した新規学卒就職者の離職状況によると、新規大卒就職者の3年以内の離職率は32.3%となっており、約3人に1人が転職する状況となっている。一方で、今後は22歳〜25歳頃の第二新卒採用や経験者採用といった人材をターゲットとした戦略が重要になる。転職のハードルが下がるなかで、企業側も情勢にあった採用戦略を立て、即戦力として活躍できる人材を確保し、生産性向上を図ることに方向転換することが求められるものと認識している。



森山 博美



●教えて！諏訪市職員の人数や給料のこと

問 正規職員と会計年度任用職員は何名いるのか。

答 令和5年4月1日現在、正規職員487名、会計年度任用職員532名。

問 給与計算の方法と手取り額はいくらなのか。

答 給与の計算方法について、正規職員は給料表の給料月額に各種手当を加算する方法により、総務課で一括して計算。会計年度任用職員も原則同様。月額や時間額で、報酬月額が実績払の職員は所属課所では出勤明細書を作成、それに基づき総務課で給与計算を行っている。手取り額は総支給額から法定控除である所得税、住民税、社会保険



諏訪市役所

料等を控除したものが手取り額、差引支給額となる。参考数値として、差引支給額は部長級約39万円、課長級約36万円、係長級約31万円、初任職員主事級は約18万円。

人件費は1か月いくら必要か。

答 約2億2千万円。内訳は

正規職員 1億6千万円、
会計年度任用職員 6千万円。

問 職員の勤務管理はどうしているのか。

答 服務規程から休憩時間を除き午前8時30分から午後5時15分までが勤務時間。タイムカードでの管理は行っていない。休暇の取得は、事前に年次休暇・休暇欠勤等承認願を上司に申請する。各自が業務に使用しているシンクライアント端末(PC)の口グにより客観的な労働時間の把握ができる。

問 職員の離職率と職員サポート室利用者の状況は。

答 離職率は概ね2〜3%で推移。採用5年以内の退職職員数は毎年2〜5名。職員サポート室の利用状況は令和4年度の相談総数1243件、20代職員11.8%。若い職員への支援のため、3年以内の全職員を対象に面談を行っている。

一般質問



井上 登



●中高年シングル女性の生活困窮

問 高齢女性の貧困について、市長の所見は。

答 中高年の女性は雇用の問題に加え、健康・介護・年金など、さまざまな問題を抱えていることを懸念している。

問 生活費における家賃の負担が大きいが、住宅支援は。

答 住居確保給付金事業を行っている。収入減少により住居を失うおそれのある者に対し一定期間、家賃相当分を支給する。

問 女性に対する相談支援体制は。

答 女性をめぐる課題については地域戦略・男女共同参画課、こども課において相談窓口を設けている。相談窓口の周知に努めていく。

●民生児童委員の成り手確保

問 期待される役割が増える一方、高齢者が多く、負担軽減が必要では。

答 市から依頼する調査等の活動に対する福祉委員報酬額の見直しについてはまずは業務量等を精査し、負担軽減を図っていく。

●いじめ・不登校問題

問 諏訪市立小中学校のいじめについて、千人当たりの認知件数は全国平均と比べると半分以下となっている。教育長の所見は。

答 担任が一人で抱え込むケースや、教員の目が届かず児童生徒が抱えているケースもあるのではないかと考える。いじめ認知の感度を高め、安心して生活できる学校環境づくりに取り組んでいく。

問 フリースクールへの財政支援制度は。

答 県は、運営経費を補助することを盛り込んだ「信州型フリースクール認証制度」の来年度からの運用開始に向け、検討を進めている。

問 非正規で働くスクールソーシャルワーカーを常勤化する考えは。

答 市内全校を対象として週2回程度であり、相談は相性により成り立つ側面が大きい。複数人が対応できる体制を整えることが大切であり、当面は現在の2名体制を維持していく。



市内にあるフリースクール



小山 博子



●子どもの有給休暇（ラーケーション）について

問 「ラーケーション」とは、「学習」を意味する「learning」と「休暇」を意味する「vacation」を組み合わせた造語。家族でいつ、どのような活動をやるのか計画を立て、事前に学校に届けを出せば、保護者の休みに合わせて、年間3日まで欠席扱いにならず休みが取得できる。導入はいかがか。

答 本制度の導入については、メリット、デメリットがある。地域への波及効果、経済効果等を含め研究が必要である。

●男性が利用できる産後ケア事業制度への拡充は

問 海外の調査では産後にうつを発症する男性は約5%、日本では10%程度に上るとされている。この事業の対象を男性へと拡充し、男性を対象にした支援のメニューも加えていく必要がある。制度の拡充は。

答 男性利用に向けた体制整備などの課題もある。今後、県とも連携しながら調査・検討を進めていきたい。

から調査・検討を進めていきたい。

●3歳児未満の第2子保育料の負担軽減について

問 現在、保育所等を利用する最年長の子供を第1子とカウントし、0歳から2歳までの第2子は半額、第3子以降は無償。第1子が卒園しても、第2子は第2子とカウントし、減免対象にしていただきたいと考えるがいかがか。

答 保育料の減免措置を設けた場合には、相当程度の財政負担が生じる。慎重に検討していく必要がある。

●「ひろがる笑顔」ゆめ保育所プランの推進について

問 計画的に推進していく必要がある。今後のタイムスケジュールは。

答 これまで十分にご意見が聞けなかった若い世代の方や地域の関係者の方々から、改めてご意見を伺いながら、保育所プランの推進を一段と加速していく。

早くプランが進めばいいね！



常任委員会 行政視察

社会文教委員会 令和5年10月4日(水)～10月6日(金)

岐阜県飛騨市、石川県かほく市、七尾市、小松市

■飛騨市

「医療・介護・福祉人材の確保対策補助制度について」
高齢化率39%、「人口減少先進地」と自ら称する中で、包括的な人材確保支援策を創設し、時流を捉えた様々な施策、空き家等を社宅として借り上げる市内の介護事業所に対する補助やシニア世代の介護就労促進のための奨励金など、事業者や市民に寄り添う施策を展開していました。



飛騨市役所

■かほく市

「手ぶら登園(紙おむつのサブスク)について」
「認定こども園について」
認定こども園において保護者の負担軽減を目的として、紙おむつ・おしりふきが直接園に届く月額定額サービス「手ぶら登園」を導入するとともに、同時期にお昼寝ベッド「コット」の導入を行っており、布団の持ち帰りを廃止していました。また、登降園サービスアプリ「コドモン」の導入等と併せて保護者のニーズを捉えていました。



かほく市役所

■七尾市

「子育て支援施策について」
「認定こども園について」
保育園・認定こども園の0～2歳児クラスにおいて、市が紙おむつメーカーと連携し全額市の負担によりおむつ・おしりふき持参不要の「すまいる登園」を実施しており、保護者にとっては紙おむつ代の軽減、保育士にとっては誰のおむつかを気にせず使用できるため、とてもよい施策であるとのことでした。
また、第2子以降の保育料は無償となっており、医療費についても18歳まで窓口無料となっていました。

■小松市

「赤ちゃん紙おむつ定期便について」
「認定こども園について」
生後3か月～1歳の誕生日まで、月に1回見守り訪問、子育てに関する情報提供を行い、併せて紙おむつを無償で配達することで、市と子供・保護者の接点を作る事業を実施していました。委託を受けた配達事業者が毎月配達の際に対面によりコミュニケーションを図ることで、保護者の精神的・経済的負担を軽減する仕組みができていました。
また、平成18年度～令和2年度までの15年間で保育所の統廃合、民営化が推進され、19施設から5施設となり、14施設減少しました。(民間移行10施設、統廃合4施設)



小松市議場にて

高齢者社会の先進地の取組を学ばせていただき、また子ども子育て支援については、認定こども園に移行する背景など参考になることが多くあり、とても勉強になりました。今後行政視察で学んだことを諏訪市政に反映できるように努めてまいります。

総務産業委員会 令和5年10月31日(火)～11月2日(木)

兵庫県西宮市、神戸市（人と防災未来センター）、小野市、高砂市

■西宮市

「浸水対策、避難所設置について」
浸水対策の事例紹介では、道路や公園の地下などに雨水貯留施設を整備し、市内11か所、総量約1万5千トンの雨水貯留施設を整備しています。また、小中学校や公園のグラウンド表面に雨水を一時的に貯留し、下水道への雨水流出を抑える流出抑制施設を市内の小中学校58校、公園9か所に設置し、総量約2万トンの雨水貯留施設を整備していました。
避難所になる体育館では、現在中学校19校は空調を完備し、小学校40校は計画的に設置を行っていました。



西宮市議場にて

■神戸市

「人と防災未来センターについて」
阪神・淡路大震災で何が起きていたのか。これから子どもたちに何を伝えなければならないか。二度とこのような災害が起こらないようにするにはどうしたらよいか。様々な知恵や知識を分かりやすく発信して、災害に強いまちづくり、地域づくりに役立つ取組が紹介されていました。



人と防災未来センター

■小野市

「防災センターの機能、防災備蓄倉庫について」
小野市の外国籍人口は1,162人。最も多い国籍はベトナム国籍594人で半数を占めています。市民研修室において、日本人とベトナム人の防災交流会を行っています。子どもと親の防災ガイドブックは英語版を発刊しており、その中に、災害時に役立つ多言語ツールとして、対応アプリVoice Tra(ボイストラ)が紹介され、救急搬送時にもそのアプリを使用しているとのことでした。
また防災備蓄倉庫の管理について、備蓄品の5年ごとの見直しに伴い、備蓄目標計画を作成していました。実際の倉庫を視察すると、配置図どおりに備品が整理整頓されており、誰でも素早く持ち出しができるようになっていました。



小野市防災センター

■高砂市

「治水対策について」
浸水被害を解消するためには、「流す」対策だけでは不十分であり、田んぼダム・ため池・校庭貯留・各戸貯留対策が必要とのこと。雨水貯水タンク設置助成金制度を平成28年度から開始し、現在までに128件・容量2万6千リットル余りの治水対策を行っています。



雨水貯水タンク

今回の行政視察を受け、今後の防災・減災に関する代表・一般質問や政策提言へつなげていけるよう、引き続き調査研究を重ねてまいります。

議長室からこんにちは！



このたびの能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

社会経済の急速な構造変化が進み、民意が多様化する中、地域の諸課題の解決にあたり住民の代表である市議会の役割と責任が増大してきています。

令和5年5月に地方自治法改正案が可決・成立し、議員としての職務や、地方議会の役割などについて、法律上で明確化されました。そこで今後も議会活動状況を積極的に公開することで、透明性を確保し、市民の皆さんの多様な意見を把握するために、意見交換会や報告会など市民参加の様々な機会づくりに努めます。また、共有いただいたご意見を市政や議会運営に反映してまいります。

議長 横山 真

議会に参加しましょう

3月定例会は、**2月20日(火)** 招集予定です。

詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定し、ホームページ等でお知らせする予定です。



議会を傍聴しましょう！

諏訪市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。予約は不要です。ご希望の方は、諏訪市役所・議会棟2階の議会事務局窓口まで直接お越しください。託児サービスは傍聴希望日の5日前までにお申し込みください。



請願・陳情を出しましょう！

議会に対して陳情書等を提出することができます。ご意見や要望がある方は、議会に文書でご提出ください。

○締切りは**2月9日(金)正午**までです。

○提出方法など、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



議会をテレビ・パソコンで見ましょう！

本会議の様子は、LCVの「かりんちゃんねる」(111ch)で生中継しています。

また代表・一般質問の映像は定例会終了後にYouTubeにて公開しています。各議員のQRコードを読み込むと、動画一覧ページに移動しますので、ぜひご覧ください。また、本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

3月定例会のテレビ中継日程

月 日	会 議
2月20日(火)	提案説明、議案質疑、付託
2月27日(火)	代表・一般質問
2月28日(水)	一般質問
2月29日(木)	一般質問
3月14日(木)	委員長報告、採決

各議員の質問内容について、一覧を議会招集日を目安にホームページに掲載させていただきますので、ご確認ください。

委員 井上美登
 副委員長 森山綾子
 委員 藤森博
 委員 牛山実
 委員 大津学
 委員 小山博
 委員 小島子

議会だより編集委員

新しい年を迎えました。コロナ禍の去年までとは違って久しぶりに自由がきく暮れ正月だったのでないでしょうか。
 私も初当選して議員生活1年目の4分の3が過ぎましたが、「こういうものか」と感じていても「去年までは違ったよ」と言われることがあります。
 時代は移り行くものだと思います。物事は広い視野で見ることが大事だとよく言われますが、時間的に広い視野で見ることが大事です。つまり過去から今に至る歴史を学び、先の未来を見通しながら今を考えることが必要だ、と自戒しております。
 諏訪市議会も変わりつつあります。市民の皆さんと意見のキヤッチボールができる議会を目指します。
 寒さ厳しき折、ご自愛下さい。

編集委員 大津 学

編集委員よりひょうご



諏訪市公式LINEで議会だよりを配信しています！

諏訪市公式LINEにて議会だよりを配信しています。

諏訪市LINE公式アカウント「友だち登録方法」：右記QRコードを読み込むか、LINEアプリ内で「諏訪市」または「@suwacity」と検索してください！



友だち登録はこちらから！